

平成27年9月30日
京阪電気鉄道株式会社

京阪特急の次代を拓く

2017(平成29)年、「(仮称)京阪特急プレミアムカー」を導入!

- 8000系京阪特急に、座席指定の特別車両(有料)を導入
- これまでの8000系京阪特急の快適性をさらに高め、ワンランク上のサービスをご提供
- 通勤にも観光にもうれしい「確実に座れる」「上質な移動空間」を実現します

京阪電気鉄道株式会社(本社:大阪市中央区、社長:加藤好文)では、2017(平成29)年を目指して、座席指定の特別車両「(仮称)京阪特急プレミアムカー」を導入いたします。

京阪特急はこれまで、テレビカー(車内にカラーテレビを設置)やダブルデッカー(2階建て車両)といった時代に応じたサービスをご提供し、お客さまからご好評をいただいております。今回、当社ではお客さまの様々なニーズをとらえ、電車に乗ること自体が“楽しい・うれしい・こちよ”サービスをご提供するべく「(仮称)京阪特急プレミアムカー」の導入を決定いたしました。

近年、お客さまから「有料でも京阪特急に確実に座りたい」「京都～大阪間の移動をもっとゆつたりと楽しみたい」とのご意見が多く寄せられるようになったことに加え、京阪沿線を訪れる訪日外国人のお客さまが増加するなど、京阪特急を取り巻く環境が大きく変化しています。

そこで、8000系特急車両の一部車両を大幅に改造、快適性をさらに高め、通勤利用のお客さまにも観光利用のお客さまにも「確実に座れる」「上質な移動空間」を実現する新サービスをご提供いたします。

京阪特急の次代を拓く新サービスにどうぞご期待ください。



(仮称)京阪特急プレミアムカー(イメージ)

(別紙)

1. 新サービスの特徴(予定)

8000系京阪特急(8両編成で運用、全10編成)のうち、6号車(京都側から6両目)をすべて「(仮称)京阪特急プレミアムカー」に改造し、お客さまにより快適にお過ごしいただける空間を創出します。

○安心の座席指定

「(仮称)京阪特急プレミアムカー」は座席指定車両です。混雑時や途中駅からご乗車される場合でも、事前にご予約いただいた座席に必ずお座りいただけます。

○上質な移動空間

座席は快適性とパーソナル空間の演出にこだわって新たに開発するリクライニングシートを導入。現行よりも座席幅・座席間隔を拡大し、1扉車に改造した車内に2+1の3列(現行は2+2の4列)でゆったりと配置します。また、大型テーブル、電源コンセントを設置することも予定しています。

○専属のアテンダント

「(仮称)京阪特急プレミアムカー」には、お客さまへのご案内を行う専属のアテンダントが乗務する予定です。

○便利なインターネット予約

「(仮称)京阪特急プレミアムカー」をご利用いただくためのチケットは、インターネットの専用サイトで予約・決済可能とする予定です。

○料金

運賃のほかに、特別車両料金が必要です。

※その他、利用方法、特別車両料金、サービス内容の詳細などについては、今後検討してまいります。



車内イメージ

2. 導入時期

平成29年度上期 「(仮称)京阪特急プレミアムカー」導入、新サービス開始

※新サービスの導入のため、8000系特急車両全編成(10編成)の各1両(6号車)を改造いたします。改造期間中は同車両を7両で運用する予定ですので、ご利用のお客さまにはご迷惑をおかけいたしますが何卒ご理解賜りますようお願いいたします。

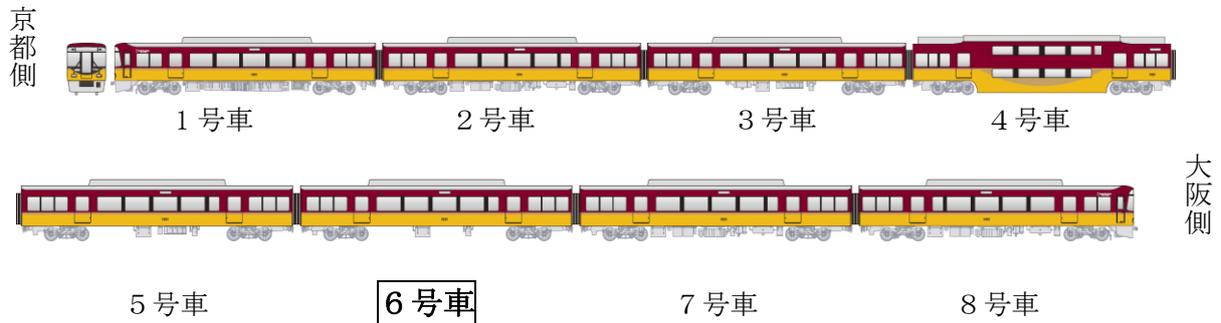
3. 投資額 約16億円(予定)

(ご参考) 8000系特急車両について

鴨東線の開業に伴い平成元年から新造した特急用車両で、大きな側面窓と2人がけクロスシートが特長です。平成9年、10年には、ダブルデッカー(2階建て車両)を新造し8両編成で運用、平成21年度からリニューアル工事を実施し、現在の姿となりました。主に特急用車両として淀屋橋～出町柳間を運転しています。



8000系特急車両



以上